

門司港地域複合公共施設計画概要
【北九州市公共施設マネジメント実行計画 門司港地域モデルプロジェクト再配置計画】

【基本計画 概要版】
門司港地域複合公共施設

1. 事業の目的・概要

老朽化が進み近い将来建替えが必要な公共施設を門司港駅付近に集約し、複合化・多機能化することで、施設整備費、維持管理費、運営費を削減する。また、利便性の向上及び市民サービスの効率化を図るとともに、市民利用施設や図書館の公共施設を活かし、地域の活性化に寄与する。

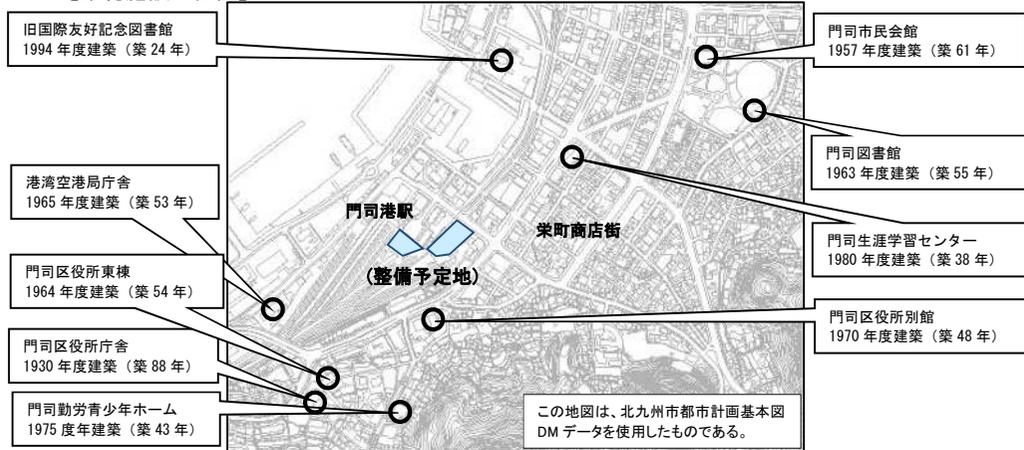
- ・交通利便性の高い門司港駅付近に公共施設を集約することで、区内各地からのアクセス利便性を高める。
- ・ホールや会議室、図書館等の文化施設を一体的に整備することで、より活発な活動を支える環境づくりを進めるとともに、周辺地域の活性化や賑わいの創出を図る。
- ・移転跡地を地域に応じた利用に転換することで、地域の魅力を高める。

【事業概要】

- 事業名：門司港地域複合公共施設整備事業
- 事業期間：平成31年度～
- 事業箇所：北九州市門司区清滝2丁目
- 概算事業費：約77.1億円

2. モデルプロジェクト再配置計画（門司港地域）

【集約施設の位置】



【公共施設集約化の対象施設と延床面積の変化】

	現況施設		現状		計画	
	施設名	延床面積	延床面積	延床面積	延床面積	備考
市民利用施設	門司市民会館	3,700㎡	8,500㎡	3,600㎡	・多目的ホール ・座席数見直し(800→500) ・会議室機能の見直し	
	門司生涯学習センター	3,000㎡				
	門司勤労青少年ホーム	1,800㎡				
図書館	門司図書館	1,000㎡	1,800㎡	1,600㎡	・2施設を1施設	
	旧国際友好記念図書館*	800㎡				
庁舎	門司区役所	7,100㎡	10,600㎡	8,800㎡	・会議室等の共用利用	
	港湾空港局庁舎	3,500㎡				
計		20,900㎡		14,000㎡		

その他施設：有料駐車場（340台）、利便施設（200㎡）

*旧国際友好記念図書館（現大連友好記念館）は平成30年3月31日閉館

【対象施設の現状】

施設名・建築年度(延床面積)	現状・課題	
市民利用施設 門司市民会館 ・1957年(3,700㎡)	○耐震基準を満たしていない ○建物が古く、設備の劣化が進んでいる ○バリアフリー対応が十分でない ○座席間のピッチが狭く、2階席の座席・階段の勾配が急 ○稼働率が低い（利用は主に土日のみ） ○付属駐車場が狭い	
門司生涯学習センター ・1980年(3,000㎡)	○会議室や和室など類似した役割を持つ部屋が複数ある ○いずれの部屋も稼働率が低い ○付属駐車場が狭い	
門司勤労青少年ホーム ・1975年(1,800㎡)	○会議室や和室など類似した役割を持つ部屋が複数ある ○いずれの部屋も稼働率が低い ○平成31年度末廃止予定	
図書館 門司図書館 ・1963年(1,000㎡)	○フロアが3階に分かれており使いにくい ○付属駐車場が狭い	
旧国際友好記念図書館 ・1994年(800㎡)	○観光施設・交流拠点（大連友好記念館）として活用 ○図書館は平成29年度末閉館	
庁舎 門司区役所 ・1930年(5,750㎡)	・区役所本館 ・(国)登録有形文化財（建造物） ・保護課、消費生活センターが使用	<課題> ○建物が古く、設備の劣化が進んでいる ○バリアフリー対応が十分でない ○市民の待合スペースが不足 ○駅や市街地から離れておりアクセスが悪い
門司区役所東棟 ・1964年(500㎡)	・保健福祉業務の一部で使用 ・1階は錦町市民センター、2階は区役所別館、上層階は住宅（UR）の複合建築物	
門司区役所別館 ・1970年(850㎡)		
港湾空港局庁舎 ・1965年(3,500㎡)	○耐震基準を満たしていない ○築後50年経過し、今後修繕コストが増大	

3. 整備予定箇所

建物の配置や立面上的の構成、主動線は、あくまで参考例であり、技術提案の条件ではありません。

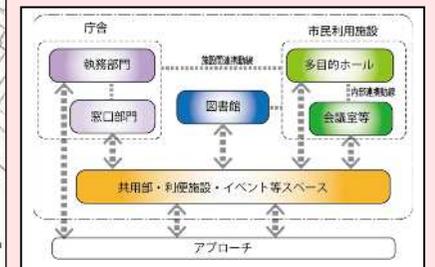


複合公共施設整備予定箇所



複合公共施設イメージ図

イメージは参考。今後の検討により変更となる可能性があります



施設の構成と利用者の主動線(案)

建物上の配置構成を直接示すものではありません。内部連携動線、施設間連携動線は、機能間の連携や運営上の連携動線

4. 複合公共施設の整備基本方針と整備計画

【基本方針】

門司港レトロの玄関口に誇れる「みんなの施設」

目標1：市民が誇りを持って利用し、育てていく施設づくり (機能、運営システム、連携のモデル)

- 施設や機能の複合化が、新たな文化的価値を生み出すきっかけとなり、市民活動の豊かさの向上に寄与していくこと
- 市民利用施設、図書館、行政機能が連携していく可能性を示していくこと

目標2：市民も観光客も立ち寄りたくなる施設づくり (周辺環境、景観等のモデル)

- 市民の日常動線と観光客等の回遊動線が交差する場所に位置する立地特性に照らして、複合公共施設整備の効果を周辺に波及させ、新たな流れを誘導していくこと

目標3：これからの公共施設が備えるべき性能・設備を先取りした施設づくり (建物の性能、ライフサイクル等のモデル)

- 公共施設マネジメントのモデルプロジェクトとして環境、防災、ユニバーサルデザイン、維持管理コストなど複合公共施設が将来にわたって良好なレベルで使い続けることができるよう、先導的な取り組みを行っていくこと

【配慮事項】

魅力ある賑わいの創出

- ◎生活における交流【日常】
 - ・地域拠点の充実
 - ・商店街や周辺施設とのサービスを含めた連携
 - ・多様な世代が集い、出会い、交流する場の形成
 - ・交通結節機能の充実、強化による公共交通利便性の向上
- ◎観光による集客【非日常】
 - ・広域観光拠点の形成
 - ・門司港レトロとの連携
 - ・回遊動線の確保、向上
 - ・交流人口の増加

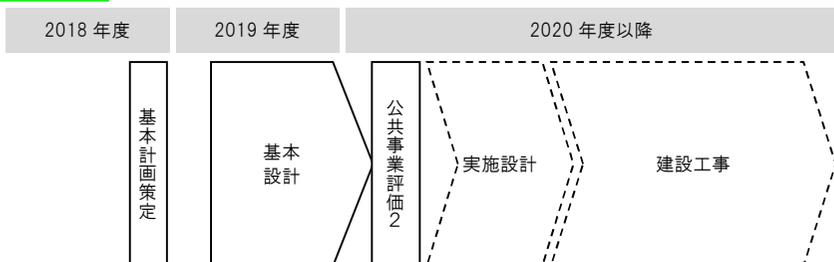
持続可能な施設の構築

- ◎環境負荷低減
 - ・CASBEE 北九州
- ◎景観、デザイン
 - ・景観重点整備地区に相応しい風格と落ち着きあるデザイン
 - ・夜景景観への配慮
 - ・周辺景観・施設との調和
- ◎将来への対応
 - ・財政負担の軽減
 - ・コンパクトシティの実現
 - ・将来需要の変化に対する柔軟性の確保
 - ・潜在需要への対応

基本的な性能の確保

- ◎安全、安心、快適【平時】
 - ・ユニバーサルデザイン
 - ・バリアフリー
 - ・無駄のない空間構成
 - ・使いやすい、利用者目線の施設
 - ・利便性が高く、機能的なサービスの提供
 - ・効率的な執務空間
- ◎防災拠点【非常時】
 - ・基本性能の確保
 - ・災害時における対応
 - ・事業継続

6. スケジュール



5. 各施設の整備基本方針及び整備内容

門司港地域複合公共施設(公共施設: 14,000㎡、利便施設200㎡)

市民利用施設(3,600㎡)

多目的ホール(1,700㎡)

- ◇市民・団体の活動拠点として、地域拠点施設に位置づけ、施設規模に応じて地域の文化行事や個人の演奏会などに使用
- ◇ホールは、舞台設備等を備えた文化ホール仕様
- ◇座席を可動式の多目的ホールとすることで、会議、文化活動、スポーツ等にも活用

【整備内容】

- ・座席数:500席程度
- ・可動式座席を採用したアリーナ兼用
- ・楽屋は、小会議室(会議室、和室)を兼用
- ・災害時等における柔軟な利用・運用への対応

会議室(1,900㎡)

- ◇特定の目的に縛られず、幅広い多くの市民が活用する施設
- ◇大会議室と複数の小会議室を設置し、会議室には可動壁を採用する等、多様な活動への対応を図る
- ◇図書館での様々な活動など、複合化による多様な可能性を活かすことができる施設運営をはかる

【整備内容】

- ・大会議室/100~300人規模の講演会用(面積規模:300㎡)
- ・小会議室/50~80㎡程度の会議室を7室確保(会議室2室、和室2室、調理室1室、美術工芸室1室、音楽室1室、各室は多目的な利用に対応)
- ・災害時における柔軟な利用、運用への対応

図書館(1,600㎡)

- ◇地区図書館として、区民を中心とした貸出・予約・読書案内・簡易なレファレンスなどのサービスや図書の充実を図る
- ◇国際交流に関する図書、地域特性に関連する図書、情報の充実を図る
- ◇静かに本を読める空間と、図書館の利用者が集える空間を確保

【整備内容】

- ・わかりやすいサービスカウンターの設置
- ・読み聞かせコーナー、読書室、読書会などに柔軟に対応できるプラン
- ・適切な蔵書能力を持つ書庫の設置、一般蔵書、テーマ別蔵書、特集コーナーなどを効率的、柔軟に対応できる配架システム
- ・静かに読書できるスペースやリフレッシュコーナーの設置、通信環境(WiFi等)の完備

庁舎(8,800㎡(区役所 6,800㎡、港湾庁舎 2,000㎡))

- ◇まちづくりの推進や地域コミュニティ活動への支援、保健福祉や子育てに関する相談、災害時の防災拠点など、住民に身近で多様な役割を果たす
- ◇来庁者の利便性に配慮し、窓口ワンストップサービスなど効率的、効果的な市民サービスの提供
- ◇港湾空港行政の役割を果たす
- ◇会議室を相互利用するなど、複合化のメリットを活かした運営を図る

【整備内容】

- ・わかりやすい窓口案内を可能とするエントランス、待合スペースの確保
- ・区役所手続きのワンストップサービスの実施
- ・市民ニーズや区役所業務の変化に対応できる、柔軟性のある空間計画
- ・防災拠点としての強度・性能の確保
- ・庁舎内における積極的な機能の兼用化

利便施設(200㎡)

- ◇施設利用者の利便性を向上、また、公共交通利用者や観光客などが気軽に立ち寄れる施設

付属駐車場(約340台)

- ◇施設利用者や公用車のほか、観光客など地域の駐車需要や交通乗継にも対応できる立体駐車場として整備
- ◇駅前広場に隣接した敷地に独立した立体駐車場として配置
- ◇門司港駅に隣接した位置にあるなどの立地状況を踏まえ、景観・デザインを重要な要素として検討

【整備内容】

- ・駅前広場歩道横断の安全性確保に留意
- ・景観・デザインへの配慮
- ・庁舎までの動線に屋根を設置するなど良好なアクセス確保への配慮